

氏名	小風 秀雅 KOKAZE Hidemasa
所属 職名	人間文化創成科学研究科文化科学系 教授
学位	文学博士（1995 東京大学）
専門分野	日本史学（日本近代経済史、経済政策史、交通史）
URL	
E-mail	kokaze.hidemasa@ocha.ac.jp

## 研究者キーワード / Keywords

近代日本史  
国際関係史  
産業遺産  
史料管理学  
経済史

Modern History of Japan  
Global History in 19th Century  
Industrial Heritage  
Archival Science  
Modern Economic History

## 主要業績

（論文・単著）「19世紀世界システムのサブシステムとしての不平等条約体制」（東アジア近代史学会『東アジア近代史』13、122?142頁）

（論文・単著）「法権と外交条約の相互関係」（『近代アジアの自画像と他者?地域社会と「外国人」問題』京都大学学術出版会、151?173頁）

（編著）『都市化と市民の戦後史』（藤沢市、全340頁）

（編著）『佐渡金銀山の歴史的価値に関する歴史学的・史料学的研究』受託研究2010年度報告書、新潟県、全162頁

（コーディネーター）『世界遺産シンポジウム「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」』シンポジウム記録、文化庁・新潟県・佐渡市、全48頁

## 研究内容 / Research Pursuits

19世紀における日本の開国・開港を世界史的視野から再検討し、従来の植民地化の危機の有無を中心とした東西対立的な視点ではなく、日本の開港によって、初めて本格的なグローヴァル社会が歴史的に成立したことを解明しようとしている。また、日本の近代化の特徴を「脱亜入欧」ととらえようとするこれまでの通説に対して、日本的要素を加味し、欧米の模倣でない近代化を進めたことを明らかにしようとしている。また、産業遺産関係では、世界遺産の国内候補となったいくつかの地域を中心に、どのような方針と考え方で遺産として、後世に伝えていくか、という点に関する検討委員会に属し、専門的検討を行っている。そのなかには、当然産業企業の保有する企業史料も含まれるので、史料管理学的見地からの整理・調査を進めている。史料管理学としては、公文書管理法施行にともなう国立法人の文書館機能の保持義務にどのように対応するか、という検討を、アーカイブズ学会や学習院大学アーカイブズ系の研究者とともに進めている。

## ■ 教育内容 / Educational Pursuits

学部では、日本近代史を中心に、講義・演習・史料購読、などを担当し、習う近代史から、考える近代史への発想の転換が起こるように、指導している。年に2回は現地調査を行い、実際に現場に立つことの必要性にも配慮している。大学院では、院生の多様な研究関心に対応して、研究を進めるうえで、適切な助言を与えるよう努力しているほか、外部資金を活用して、企業史料や産業遺産に実際に触れる機会を作り、史料上の研究にとどまらない、幅広い研究関心を持つように指導している。

## ■ 研究計画

日本の近代化と国際化について、新たな視点からの共同研究グループを立ち上げ、論文集を編纂する企画を進めている。これにより、不平等条約にかんする理解はこれまでとは大きく変化し、新たな19世紀国際関係史を提示することが可能となろう。また、産業遺産関係では、文化庁や関係地方公共団体とともに、近代の文化財保存の新たな枠組み作りを進めていきたい。アーカイブズでは、喫緊の課題である大学アーカイブズに関する基本的な考え方を提示し、今後の大学アーカイブズ機能の拡充に向けた指針を示して行きたい。

## ■ メッセージ

大学は、高校までと全く異なる学びの場です。そこでは、主体的に自分の関心に従って学ぶことが求められます。教員や提示したものを消化するだけでなく、自ら課題を見つけ、じぶんで取り組み、自分なりの解答を出していくことが重要になります。そういう姿勢は卒業後、専門職を目指す人のみならず、一般社会人としても必要な態度であり、大学はそうした人材を育て、社会に送り出していく役割を担っています。少人数教育を特徴とする本学では、より密度の高い教育を提供し、教員、先輩の学生らとともに自分を磨くことができます。ぜひ一緒に勉強しましょう。